

発達障害のある子どもの 防災教育ガイド

Q

歩いているときに地震が来たらどうしますか？

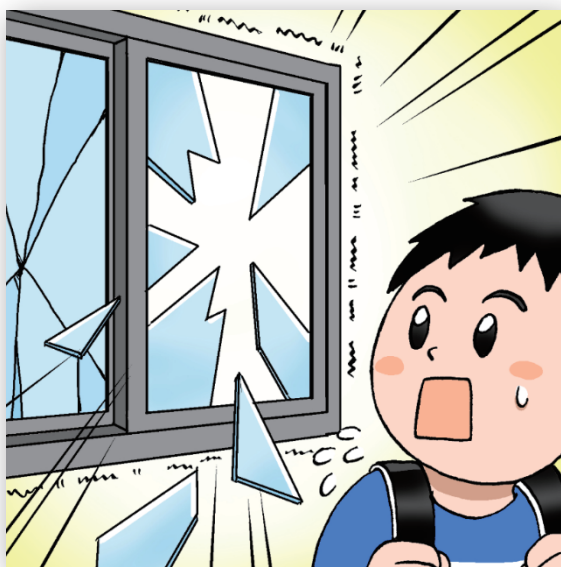


【登下校時に何か起きたら…】

- ・ 歩道のまん中にしゃがんでようすを見る
- ・ 近くの人をさがす
- ・ 少し様子を見てから建物に逃げこむ

【外で地震にあったとき気をつけること】

- ・建物からはなれる
- ・ブロック塀からはなれる
- ・がけや川、海の近くからはなれる



*「命を守る」ために

- ・避難する
- ・助けを求める
- ・むやみに動かない（助けを待つ）



Q

「台風で学校が休みになりました。家で過ごすときに気をつけることはどんなことですか？」



***守ってほしいこと**

- ・ 危ないので家でじっとしている
- ・ 川や水路、海を見に行かない
- ・ 特別警報や避難の指示が出たら、避難所に行く

【危険をさける行動はどんな時に必要？】

- ・「警報」が出たとき
特別警報：大雨、暴風、大雪 など
- ・「避難情報」が出たとき
避難準備、避難指示、避難勧告 など



【自分の住んでいる場所を知る】

- ・ハザードマップを家族で見る
- ・家族で避難所までの道を確認しておく

【ふだんから関心をもとう】

- ・ 天気予報
- ・ 安全に関する情報
- ・ サイレン（携帯電話などのアラームも）
- ・ 避難場所に自分で行ける？



***このガイドの使い方（大人の方へ）**

このガイドは、子どもたちが「自分で自分の命を守る」という視点で作成しました。

災害は近くに大人がいないときに起きる可能性もあります。

命を守るためには、子ども自身が

- ① 危険を知り、
 - ② 現在の状況を把握し、
 - ③ 安全を確保するために行動する、
- ことが大切です。

しかし、発達障害があるために周囲や自分の状況を的確に把握したり、冷静に行動したりすることが難しい子どももいます。いざというときに備えて、学校や家庭でこのガイドを見ながら、どんなことが大切か、どんなことに気をつけるとよいか、一人一人に合わせて子どもと一緒に考えてください。

*文中の防災に関する用語等には、読み方の難しい漢字もあります。行間を広めにしてありますので、ふりがなを振るなど子どもの実態に合わせてご活用ください。

*参考サイト

- ・国土交通省「防災教育ポータル」

自然災害について幅広く動画等の資料が掲載されています。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>

- ・国土交通省 気象庁「災害から身を守ろう」

動画のリンク集が掲載されています。子ども向けコンテンツもあります。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu_portal/

- ・東京管区気象台「防災教育ポータルサイト」

緊急地震速報対応の訓練キットも掲載されています。

<http://www.jma-net.go.jp/tokyo/fukyu/>

- ・文部科学省 × 学校安全

都道府県・政令市教育委員会で作成された資料が掲載されています。

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/index.html>

*情報は常に更新されます。必要に応じてアップデートをしてください。

2020 年 3 月

著 者 梅田 真理、鳥居 深雪、渡辺 徹

発行者 梅田 真理 宮城学院女子大学

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1

*このガイドブックは、科学研究費助成事業基盤研究

(C) (2015～2019 年度) により発行しました。